

柏市立学校施設個別施設計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果

No.	ご意見	市教育委員会の考え方
1	<p>感染症予防の観点より：すべての学校でお湯が使えるようにしてほしい。</p> <p>バリアフリーの観点より：空き教室を活用し、スヌーズレンルームやクールダウンルームなど、児童が教室の喧騒から離れて休憩できる空間を設置してほしい。</p> <p>防犯の観点より：水筒への異物混入、児童の学習用具（リコーダーなど）への嫌がらせ、盗難などを避けるために個別のロッカーは鍵がかかるようにしてほしい。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の学校環境の在り方や環境整備を検討する際の参考とさせていただき、引き続き適切な学校施設の活用に努めてまいります。</p> <p>なお、スヌーズレンルームやクールダウンルームについては、学校の状況を踏まえながら、余裕教室等の活用も含め、整備の可否について検討してまいります。</p> <p>また、既に一部の学校ではカーテン等により空間を区切り、児童が落ち着いて過ごせる環境を確保している例もあることから、こうした取組も参考としながら、今後の取組について検討してまいります。</p>
2	<p>柏の葉キャンパス駅近くに建設中のパークタワー柏の葉キャンパスが完成したら、柏の葉小学校に通う子供が増えるため、現時点でも普通学級が41と大規模校であるのに、さらに学級数が増える。望ましい学校規模校を遥かに超えているが、ここ数年さえ凌げば児童数が減るはずなので、やむなしと考えているのか。柏の葉キャンパス駅周辺に新しい小学校を建設する計画はどうして頓挫したのか、市議会や市教育委員会において誰が反対したのか、理由を教えてください。これまで柏の葉小学校の敷地内に増築に次ぐ増築をしているが、計画通りなのか、見込み違いであればどうして間違えたのか、経緯を教えてください。</p>	<p>柏の葉キャンパス駅周辺の開発に伴う児童数の増加や、柏の葉小学校の学校規模に関するご指摘については、市教育委員会としても課題の一つとして認識しております。</p> <p>本計画では、児童生徒数の予測や地域の実情を踏まえ、通学区域の見直しを検討のうえ、余裕教室の活用や増築などにより教室不足への対応を図ることとしています。</p> <p>学校の新設や通学区域の変更、校舎の増築等の方針については、周辺の開発状況や将来推計を踏まえ、市教育委員会において総合的に検討しているところであり、柏の葉小学校におけるこれまでの増築についても、こうした方針に基づき対応してきたものです。</p> <p>なお、柏の葉小学校においては、この度の増築により校庭の面積がより狭くなることから、グラウンド面積を確保する観点から、隣接地をグラウンド用地として活用することについて、協議を進めております。</p>